

これはダメ！

白杖に触っちゃダメ！

急に身体に触っちゃダメ！

手を引っ張っちゃダメ！



ボランティアガイド

～視覚障害者サポート編～

ボランティアの現場で共に活動する仲間や来場者の中には視覚に障害のある方もいます。
視覚に障害のある方をサポートする時に役立つアドバイスをまとめました！

サポートの基本

もっと知っておきたい4つのポイント！

点字ブロック

点字ブロックは「進め」を意味する誘導ブロックと「止まれ」を意味する警告ブロックの2種類。
点字ブロックの上に物が置かれていないか確認しましょう。



▲誘導ブロック



▲警告ブロック

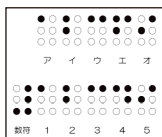
盲導犬

盲導犬ユーザーへ断りなく、声をかけたり、触ったり、食べ物を与えたりしてはいけません。
盲導犬は暑さに弱い熱中症にならないように日陰へ誘導したり、水を用意してあげてください。



点字

点字は縦3段、横2列の6つの点の組み合わせでできているので、左から右に読んでいきます。
階段の手すりや駅の券売機など、身近なところにもたくさん点字があるので探してみましょう。



身近にある工夫

私たちの生活の身近なところにも視覚障害のある方への工夫があります。
例えば、シャンプーの容器には凸凹がついていて触ただけでリンスと区別できるようになっています。他にも様々な工夫がありますので、調べてみましょう。



笑顔で
お声がけ

ボランティアの〇〇です！
何かお手伝いできることは
ありますか？

必要な
サポートを
お伺いする

動き出しは
ひと声
かけて



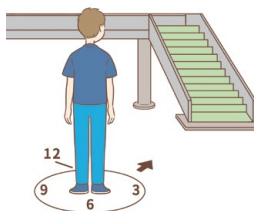
案内するときのポイント

- 1 肩や肘を相手に
つかんでもらいましょう。
- 2 右と左どちらに立ったほうが
いいか確認しましょう。
- 3 半歩前を歩きましょう。



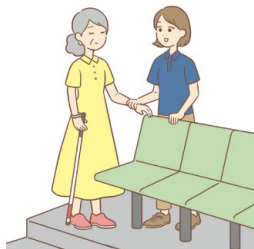
シーン1 建物や物の位置を伝える

「あっち」や「こっち」では伝わりません。
時計の文字盤に見立てるのも
テクニックのひとつ！



シーン2 イスに座るとき

イスを触ってもらいましょう。
もし背もたれがなければ
正面がどちらかを伝えてください。



シーン3 階段を通るとき

「上ります」「下ります」
「次の段で終わりです」と
状況を伝えましょう。



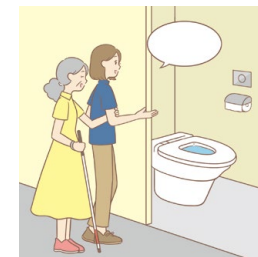
シーン4 エスカレーターに乗るとき

エスカレーターの利用が苦手な方もいます。
どのようなサポートが良いか
確認しましょう。



シーン5 トイレをご案内するとき

必ず同性の方がご案内しましょう。
トイレットペーパーの位置や流し方を
伝えて、「用が済んだらお声がけください」
と言って離れます。



相手の方とコミュニケーションを取りながらサポートすることが大切です